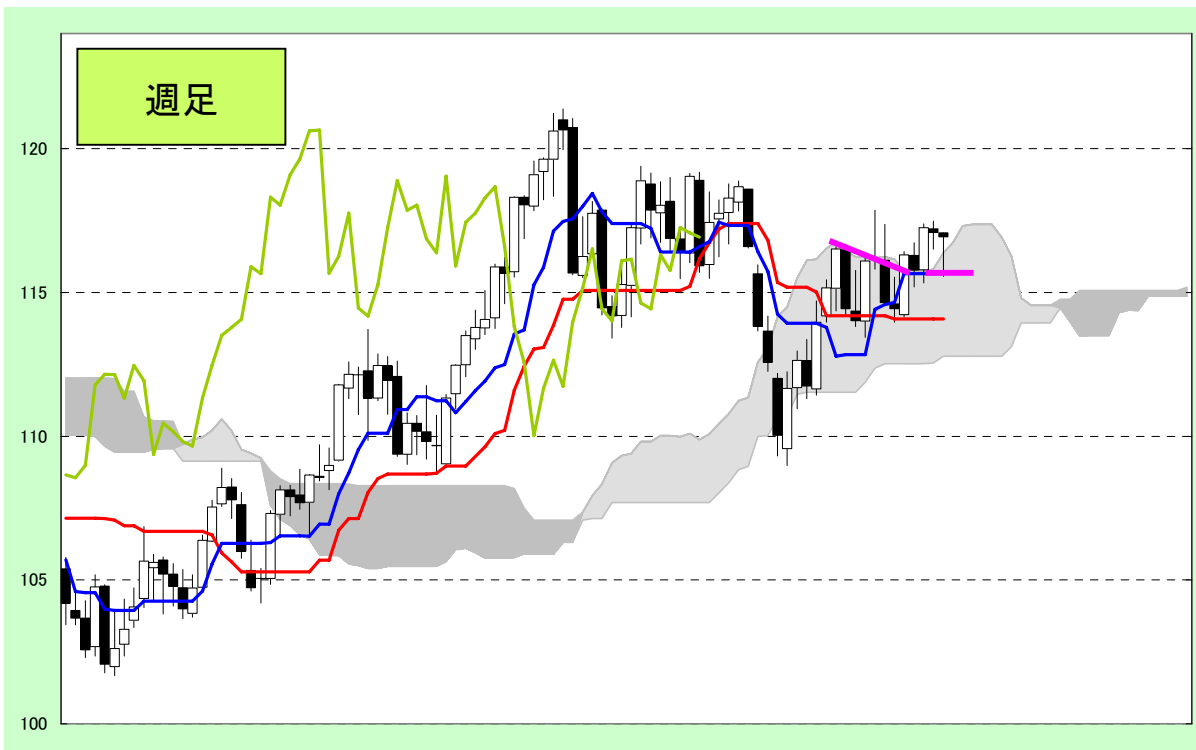


USD / JPY (9/10) 雲の上限が強い節目、G7で円高とは限らない



コメント

先週の値動き＝週初めに円買いも下げ渋り。週末にかけ戻す展開で、週の始値の117円ちょうど近辺でひけた。

今週の指標＝米指標と週末のG7に注目。最重要は貿易収支、小売売上高、CPI。G7は円安についての言及が予想されており、注目される。

テクニカル＝引き続きトレンドがない状況が続く。ただ、注目されるのは、**一目雲の上限**。直近相場は、同水準がごとく節目となっている。先週も同水準で下落が止まった。

今後雲は上向きになっており、上に抜けていくか、再び雲の中に入るか注目される。

投資のポイント

週末のG7をひかえ、円高が多数予想。ただ、投資はレンジ継続を基本に短期中心か。

長く持つならロングだろう。先週底堅さを示し雲の上限も上向き。強い円安トレンドもありえる。

転換線 = 115.65円
雲の上限 = 116円前半水準
基準線 = 114.08円

 外為どっとコム

業界No1。初心者から中級者まで。

[詳細情報はこちら](#)

EUR / JPY (9/10) 本格的な円高は遠い、ショートは短期が合理的



コメント

先週の値動き＝一時147.55円を示現するなど、軟調。終値はやや戻し、148円前半でひけた。

今週の指標＝欧州指標は少ない。金曜日にCPIがある程度。ただ、週末からのG7をひかえ、円高予想が強い。

テクニカル＝G7を控えた報道では円高円高というが、本格的な円高となるのか。

過去のユーロ円相場を見ると、**2000年10月の88.94円、2001年のゴールデンクロス**を経て、ずっと円安相場。

少なくとも12ヶ月移動平均線143.54円を割らなければ、本格的な円高になるとは言えない。

投資のポイント

長期的にはまだ上昇相場。12ヶ月線を割るまでは、上向きで考えるべきか。

スワップ金利も考慮すれば、ショートは短期で。調整が終われば、ロングでいくのが合理的。

24ヶ月線 = 139.91円
12ヶ月線 = 143.54円



業界2位。デイトレ手数料無料。

[詳細情報はこちら](#)